

早く、高く ”まず、わが身！率先避難”

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

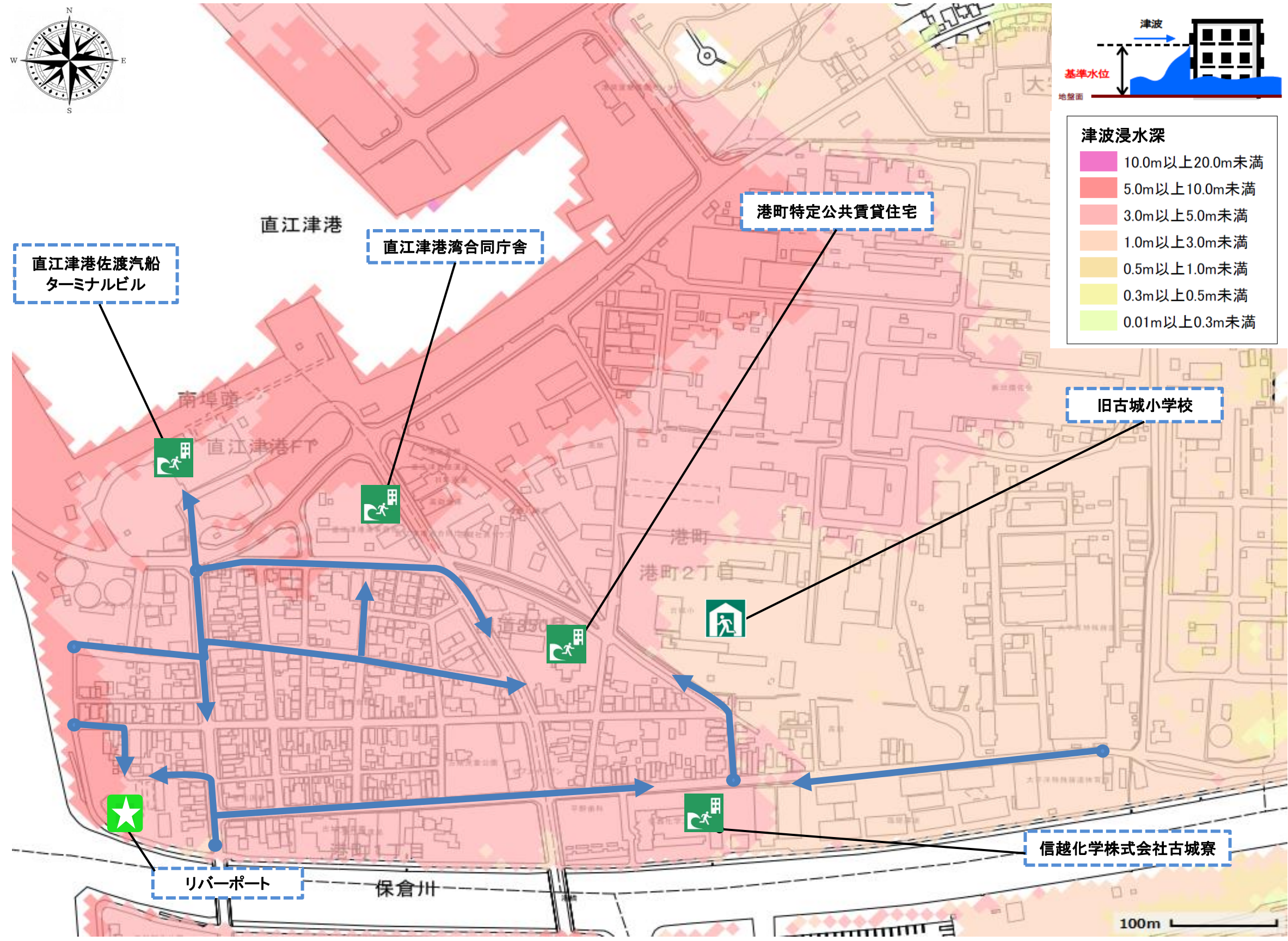
2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意し、避難時の装備を身につけ、避難の準備をしましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点や指定緊急避難場所、津波避難ビルに向かいます。 ○避難目標地点 ・マンションリバーポート ○指定避難所 ・旧古城小学校 ○津波避難ビル（指定緊急避難場所） ・直江津港佐渡汽船ターミナルビル ・直江津港湾合同庁舎 ・港町特定公共賃貸住宅 ・信越化学株式会社古城寮 4 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

直江津区関川右岸地域

避難行動計画【港町一、二丁目町内会】

避難経路図（徒歩での避難）



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

○津波警報等が発表されたら

早く、高く

○避難目標地点

- ・リバーポート

○指定避難所

- ・旧古城小学校

○津波避難ビル

- ・直江津港佐渡汽船ターミナルビル
- ・直江津港湾合同庁舎
- ・港町特定公共賃貸住宅
- ・信越化学株式会社古城寮

○避難行動の流れ

- ・津波警報等が発表されたら、迅速に率先避難を行う。
- ・避難行動は、徒歩によることを原則とする。
- ・津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。

早く、遠く ”まず、わが身！率先避難”

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・常時、車の燃料は満タンにし、簡易トイレ、水、毛布、その他必要な備蓄品等を車に載せておきましょう
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 自動車避難にかかるルール

- 避難行動要支援者が1名以上乗車していること。
- 要援護者は最優先で玄関先に出て支援者を待つ。

（有難いことに当町内には寝たきりの方がいない）
- 原則、避難先は津波浸水区域外とする（R8号以南は浸水区域外）。

※高齢者は乗車、下車、さらに避難所内への移動までの時間がかかる。

⇒自動車を一時避難所化する。

※津波の状況が落ち着いたら、イチコ直江津店駐車場やテクノセンター駐車場などからリージョンプラザ等の指定避難所に移動

※町内最遠部から源入交差点迄6分強、日之出町交差点迄6分強かかる。

⇒いずれも自動車の速度は15～20km/hの速度で試走した結果

- 逃げ遅れるなどやむを得ない場合は、旧古城小学校グラウンド（基準水位2.8m）を駐車場として、旧古城小学校へ避難する。
- 自動車の避難路、避難先は別紙「避難経路図」を参考に、各自の判断で決定する。但し、いかなる場合においても徒歩避難者の避難が優先される。

直江津区関川右岸地域 避難行動計画【港町一、二丁目町内会】 避難経路図（自動車での避難）



地域の情報

指定緊急避難場所兼指定避難所	
指定緊急避難場所（津波指定）	
指定緊急避難場所（津波避難ビル）	
避難経路	
町内会が定めた避難目標地点	

避難上の注意点

○津波警報等が発表されたら

早く、速く
「まずわが身、率先避難」

○避難目標地点

- ・テクノセンター駐車場
- ・イチコ直江津店

○指定避難所

- ・リージョンプラザ上越

○避難行動の流れ

- ・津波警報等が発表されたら、迅速に率先避難を行う。
- ・津波の状況が安定したこと（津波警報解除等）を確認後、リージョンプラザ上越へ移動する

直江津区関川右岸地域 避難行動計画【市之町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

⇒ 津波災害の特性などの把握

- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。

⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備

- ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
- ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。

⇒ 地域の避難経路、避難先の確認

- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。

⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認

- ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
- ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

⇒ 避難行動要支援者の避難支援

- ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。

⇒ 避難経路の除雪

- ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
除雪計画 1 市道 2 子供の家 3 神社参道

⇒ 防災訓練の実施

- ・町内会は、毎年2回、津波避難集合訓練の実施に努めます。

⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施

- ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。
- ・町内会環境委員による防犯灯、街路灯の点検を実施します。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	3 原則として、避難目標地点又は指定緊急避難場所に向かい、その後状況に応じ、指定避難所に避難します。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	○避難目標地点 ・(有)熊木組 2階 ※平日日中は不在の場合あり ・日本製鉄(株) 高崎寮 ○指定緊急避難場所 ・諏訪神社境内 ○指定避難所 ・旧古城小学校（町内から900m）
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。
2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。	5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。
3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
4 歩行困難な人は車いす等を準備しておく。	
5 自動車で支援を行う場合は、黒井方面へ避難する。	

直江津区関川右岸地域 避難行動計画【市之町町内会】 避難経路図

